

宮私幼 だより

第155号 令和4年3月31日

愛耕幼稚園



巻 頭 言

理事長 鎌 田 文 恵

この便りが皆様のお手元に届く頃には、桜の花が綻び始め入園式の頃と存じます。今年度もコロナ禍の中、不自由な生活を過ごす1年となりました。一日も早く通常に戻ることを念じてやみません。

さて、私事ではありますが、理事長に就任してから早2年経ち、皆様のお力添えで無事2年の任期を務めることができました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

就任した時に掲げました就職斡旋は、役員改選した後に、新役員の方々から承諾を得て、進めていきたいと思っております。

また、仙私幼と共催の教員研修も最初はぎくしゃくしておりましたが、研修を担当する役員の皆様の力で、何とか軌道にのりつつあります。

次年度は、今後少子化が益々進むと思われ、会費が少なくなり連合会の維持が困難になりますが、お互いに協力し、会費の値上げ等はないでいく方向で考えておりましたので、今後ともどうぞご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

 一般社団法人 宮城県私立幼稚園連合会

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目6-12 佐正第二ビル6F 編集・発行人 鎌田文恵



令和3年度宮私幼理事会の概要（10月～3月）

【令和3年度第4回理事会】

日時 令和3年12月3日(金)午後3時～

場所 仙台ガーデンパレス5階「宮城野」

議事

(1)宮私幼教育研究発表大会について

○日程 令和4年3月24日

○会場:フォレスト仙台&ハイブリッド形式

○内容 ・式典 ・表彰 ・分科会 ・講演会

○申込方法:幼稚園ナビ&ペーパー

(2)処遇改善加算Ⅱに係わる研修実施団体認定について

(3)宮私幼施行規則の見直しについて

①幼稚園・認定こども園・保育園の3部会を設置

②泉地区を泉・黒川地区と改名

(4)無料職業紹介所の開設について・経過報告

(5)総務・給付委員会のアンケート集計結果について

(6)教育時間のクラス編成/教職員配置に関する調査の集計結果について

①特別な配慮を必要とする幼児について ②クラス編成について

③教諭(保育教諭)・教職員の配置状況について

(7)8月～11月迄の各委員会等の事業報告について

報告事項

ア.東北地区私立幼稚園 設置・園長研修会<宮城大会>決算報告について

○令和3年6月25日(金) 於:仙台ガーデンパレス&ハイブリット

イ.特別委員会Ⅱ(組織検討委員会)実施報告 11月4日(木)

ウ.東北地区経営研究と政策総務担当者連絡協議会の報告について

○令和3年11月19日(金) 於:リモート

エ.仙台リゾート&スポーツ専門学校からの学内セミナー講師依頼

(就職イベント)1月24日(月) 13時～17時のうち30分 対象学生:9名

講演料:なし(→幼保連携型認定こども園 折立幼稚園・ナーサリールーム

庄子拓彦園長が講演)

オ.令和4年度の免許状更新講習について

その他

○今後の予定について

【令和3年度第5回理事会】

日時 令和4年2月24日(木)午後2時～

場所 宮私幼会議室

議事

(1)令和3年度 第2回定時総会の議案書について

第1号議案 令和3年度一般会計収支補正予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支補正予算(案)について

第2号議案 定款の一部改正(案)について

第3号議案 令和4年度事業計画(案)について

第4号議案 令和4年度一般会計収支予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支予算(案)について

報告事項 ①宮私幼施行規則の一部改正について

②宮城県総合教育センターとの研修事業に係わる連携及び協力に関する覚書について

その他 令和5年度園児募集の日程等について

従来通りだが、一部の地区では早めたいとのこと。

(2)第2回定時総会の議長、議事録署名人及び司会者について

(3)宮城県総合教育センターとの「令和4年度の研修事業に係わる連携及び協力に関する覚書」について

(毎年取り交わす/今年は3月4日の予定)

○総会の次第、報告事項に入れて当日配布説明する。

報告事項

ア.優秀教員表彰及び永年勤続表彰について

○優秀教員表彰者 推薦者なし ○永年勤続(10年以上)表彰者39名

※研究発表大会〔3月24日(木)〕において表彰

☆表彰代表者 南光幼稚園 釜沼あゆか先生

イ.就職内定学生実習期間の傷害保険の申し込み状況について

その他

○今後の予定について

事務局だより

令和3年度 下半期（10月～3月）

○関係機関団体

10/11 幼児教育推進連絡会議(県行政庁舎)

12/6 私学審議会(県行政庁舎)

2/25 私学審議会(県行政庁舎)

○全日私幼連

10/11 団体長会〔リモート〕

10/15・16 東北地区私立幼稚園教員研修大会(秋田大会)〔リモート〕

10/25 設置者・園長全国研修大会(福島大会)〔ハイブリッド形式〕

11/19 東北地区経営研究担当者連絡協議会・政策総務担当者連絡協議会〔リモート〕

12/2・3 園長・リーダー研修会〔リモート〕

12/9 団体長会・理事会合同会議(東京)

12/10 P T A 連合会全国大会(東京)

1/17 政令指定都市特別委員会研修会〔ハイブリッド形式〕

2/4 団体長会・理事会合同会議〔リモート〕

2/18 第2回東北地区会・団体長会議及び事務局長会議〔リモート〕

3/8 全国研究研修担当者会議〔ハイブリッド形式〕

3/14 団体長会・理事会合同会議〔リモート〕

3/24 免許状更新講習<選択>(フォレスト仙台)

3/31 東北地区会臨時団体長会議〔リモート〕

○宮私幼のあゆみ

10/6 研究委員会〔リモート〕

10/15 総務・給付委員会

10/21 常任理事会&研究委員会合同会議

10/28 研究委員会

11/4 特別委員会Ⅱ(組織検討会)

11/11 総務・給付委員会

11/17～21 宮城県造形教育作品展 (WEB展)

11/18 研究委員会

11/25 研究委員会〔リモート〕

12/3 理事会、受賞記念祝賀会(仙台ガーデンパレス)

12/9 総務・給付委員会

12/16 研究委員会、地区研修担当者連絡会、教育研究発表大会打合せ〔リモート〕

1/13 総務・給付委員会、知事陳情打合せ

1/19 知事陳情・懇談会打合せ

1/20 研究委員会〔ハイブリッド形式〕

2/4 知事・議長陳情&知事との教育懇談会

2/10 総務・給付委員会

2/17 研究委員会、教育研究発表大会担当者事前打合せ〔ハイブリッド形式〕

2/21 常任理事会&総務・給付委員会合同会議

2/24 理事会

3/2 総務・給付委員会

3/10 第2回定時総会、設置者・園長研修会(仙台市民会館)

3/17 研究委員会〔リモート〕

3/24 教育研究発表大会〔ハイブリッド形式〕

○慶弔

7/26 故 風間 文静氏(認定こども園ひかり幼稚園 前理事長) 死亡叙位

11/3 北村 泰秀氏(法山寺幼稚園 理事長・園長) 宮城県知事表彰

〃 高橋 正一氏(くり幼稚園・くりっこ保育園 理事長) 宮城県知事表彰

12/24 島谷 俊美氏(あけぼの幼稚園 理事長) ご逝去

3/7 丁子 婦貴子氏(鳴瀬幼稚園 園長) ご逝去

3/24 閑上わかばこども園(美田園わかば幼稚園から認定こども園へ移行)

落成式、開園式

令和3年度 第2回総会・設置者園長研修会

日時：令和4年3月10日(木) 会場：仙台市民会館 地下展示室

令和3年度 第2回総会

総会に先立ち、ご逝去された認定こども園ひかり幼稚園前理事長 風間文静先生、あけぼの幼稚園理事長 島谷俊美先生、鳴瀬幼稚園園長 丁子婦貴子先生に黙祷を捧げました。

鎌田理事長挨拶：①2月4日(金)知事陳情、教育懇談会 ②3月2日(水)県議会議員との勉強会(私立幼稚園運営費の増額を県議会で審議) ③無料職業幹旋(定款事業変更) ④全日私立幼稚園連合会等の使途不明金(全日ガヴァナンス強化設立委員会の目途がついたので、保留していた令和3年度の会費を納入)

議 事

議長：(宮城野地区) あけぼの幼稚園 島谷京子先生、(石巻地区) 矢本はなぶさ幼稚園 山田元郎先生、議事録署名：(仙南地区) たんぽぽ幼稚園伊藤誠先生、(若林地区) 聖和幼稚園 大友まゆみ先生

第1号議案：令和3年度一般会計収支補正予算(案)、退職手当資金給付事業特別会計収支補正予算(案)、第2号議案：(一社)宮城県私立幼稚園連合会定款の一部改正(案)、第3号議案：令和4年度事業計画(案)、第4号議案：令和4年度一般会計収支予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支予算(案)……審議の結果、異議なく可決されました。



報告事項

- (1)宮私幼施行規則の一部改正について
- (2)宮城県総合教育センターとの研修事業に係る連携及び協力に関する覚書について

その他

- (1) 令和5年度園児募集の日程：従来通りとする。
- (2) Zoom利用について：宮私幼でZoom契約をしているので、各地区で利用する場合は事務局に連絡して、パスコードを教えてください。

設置者・園長研修会

- (1)「学校安全」(講師：AIG 損害保険(株)仙台支店 神田真一氏、大瀧茉莉衣氏)：メンタルSOSチェックを研修会参加者が実施し、現在のストレス状況を把握する。教職員のメンタル不調については次の4点が有効である。①教員のセルフチェック(身体面、心理面、行動面のストレスのサインに気づく。) ②管理者はラインによるケア(仕事の質、量の見直し等)を行う。 ③産業医の設置 ④事業場外に相談場を作る。
- (2) 新制度移行の現状と課題(講師：宮私幼副理事長、ねのしろいし幼稚園園長 庄司昭博氏)：私学助成園から施設型給付園、さらに幼稚園型認定こども園に移行しての取組みと課題について整理した。地域の状況によるが、新制度移行のメリットは、経営安定(特別支援加算、処遇改善手当等)、デメリットは、応諾義務があること、建学の精神が遵守しにくいこと、待機児童減で公定価格が削減されることである。(小川せつ子)

宮城県知事・宮城県議会議長への陳情と 県知事「幼児教育懇談会」

令和4年2月4日(金)午前10時に令和4年度の予算措置に先立ち、村井嘉浩宮城県知事に陳情してきました。陳情後、今回初めてとなる「幼児教育懇談会」が開催されました。宮私幼から鎌田文恵理事長他6名、同PTA連合会から佐々木幸士会長他8名が訪問しました。

要望書の冒頭と要望1～4までは昨年と同様ですが、新たに要望5、6が追加されました。

要望1：全国で下位にある私立学校運営費補助金を、国の



財源措置額まで改善するよう要望します。要望2：私立幼稚園における教員の人材確保のため、県として教育環境整備を進めていただきたく、私立学校運営費補助金における特別補助の拡充を要望します。要望3：特別な配慮を必要とする幼児の増加に伴う支援と、私立幼稚園特別支援教育教育費補助金に係る申請要件の緩和及び単価引き上げを要望します。要望4：新型コロナウイルス感染症対策に関する予算の確保を要望します。要望5：幼稚園における施設等の整備に係わる申請要件の緩和等国への働きかけを要望します。要望6：幼稚園等における安全確保対策として、防犯対策環境の拡充を要望します。

特に要望1について県議会の議決を待つが、知事からはこれまでより前向きなお返事をいただきました。他の要望についても、全国知事会等を通して国に働きかけていく旨の回答をいただきました。

要望書提出後に開催された「幼児教育懇談会」では和やか

な雰囲気の中、宮私幼から2022年県政運営の抱負「育」について、園児数が減少していること・気になる子の認定問題・大型遊具に対する助成金・県の私学助成金について、特別支援・グレイゾーンについて、お母さん代表からは、「子育ての楽しさと悩み」についてお話しいただきました。知事からは全国的課題については知事会でも検討し、個別の質問についても

丁寧にお答えいただきました。

午前11時10分、菊地恵一宮城県議会議長を訪れ同様の要望を行い、議長からは私立幼稚園のためご尽力いただくことをお話しいただきました。

(鎌田俊昭)



||||| 宮城県議会議員との勉強会 |||||

令和4年3月2日(水)午後3時30分、宮城県議会4階において初めて「宮城県議会自由民主党・県民会議との勉強会」が開催されました。宮私幼から鎌田文恵理事長他14名が訪問しました。

宮私幼からは新制度、幼稚園・認定こども園・保育園の違い、各種補助金のあり方、各地区の実情、特別支援グレイゾーン等について問題提起されました。議員の方々には熱心にお聞きいただき、ご理解いただきました。

なお、今回の初めてこの勉強会が実現したのは、県議会議員である佐々木幸士宮私幼PTA連合会会長、渡辺勝幸同副会長のお力添えのお陰です。



令和3年度 宮私幼教育研究発表大会

日時：令和4年3月24日(金) 会場：フォレスト仙台「宮城教育会館」及びZoomによるオンライン

<開会行事>

開会のことば(根来副理事長)：3月16日、宮城・福島での震度6強の地震により被害を受けた皆様にお見舞い申し上げます。コロナ禍で苦勞の多い1年だったと思いますが、研鑽に努め、研究に込めた思いや工夫を汲みとり、たくさんの学びがある大会となりますよう望んでおります。

挨拶(鎌田理事長)：卒園式も終わり、つかの間の休息のときにご苦勞様です。この2年間当たり前だった行事や日常生活が当たり前でなくなり、子どもたちが教師の表情を読み取るのが難しくなっています。このような時期に研修を受け、4月からの保育の糧となるように願っております。

永年勤続表彰(南光幼稚園 釜范あゆか先生謝辞)：一日一日が濃い毎日です。子どもの成長と命に関わる仕事にやりがいを感じます。

閉会のことば(庄司副理事長)：コロナ禍で良かったことは、①行事は、保護者が見やすかった②ハイブリッド研修は新たな力となった③リノベーションが必要である。

<事例発表1>

発表者①草の芽星谷幼稚園 佐藤景子先生

「育ちの芽～コロナ禍での園行事を通して～」

発表者②多賀城高崎幼稚園 成島結衣先生

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた子供の内面理解と教師のあり方～自由遊びのなかで主体性を育むための教師の援助を考える～」

発表者③幼保連携型認定こども園 なとり幼稚園・なとり保育園 野澤佳菜先生

「コロナ禍の中で、教育・保育の質を維持・向上をどのように図っていくか～運動会の取組を通して～」

助言：認定こども園福聚幼稚園・ふくじゅ保育園園長

関 澄子氏

関先生講評：コロナ禍で、創意工夫をして、質の維持や向上に努

めている様子が見えてきました。幼児の興味関心を捉え、ねらいを明確にして、実践後の振り返りをすることが



大切です。子どもの内面を理解し、対象児を選定し、10の姿に照らしてどのように育っていたかを的確に発表していました。

<事例発表2>

発表者④ミネ幼稚園 瀬野尾秀美先生

「運動あそびを楽しみながら、達成感を感じ、友だちと共感し合える保育」

発表者⑤やまびこ幼稚園 高橋麻依子先生

「集団生活の中で生じるトラブルやアクシデントについて」

発表者⑥将監幼稚園 真壁明日香先生

「コロナ禍において、楽しく食べる子どもの育ちを求めて」

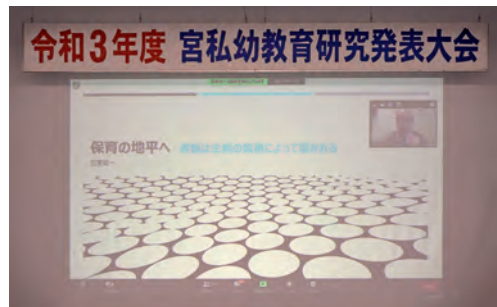


助言: 幼保連携型認定こども園泉ヶ丘幼稚園・アルル保育園園長
庄子 真由美氏

庄子先生講評: このように育ってほしいということが、主題設定に集約されていました。①保育の質を高めていくには、専門家の力を借りる。チャンスを逃がさない。②記録は大事。自分の琴線に触れたことを記録する<記録は宝>。③コロナ禍でも子どもの成長は止められない。どんな状況でも工夫を続けることで継続は力なり。



なのは、マニュアルの存在しない問題の対応能力なのである。そのためには、こんな生き方もあるよという多様な選択肢を知ることが必須となる。教育に必要なのは、「集中」ではなく「分散」（人と違う見方）をすることが、生き延びていく力に繋がる。一人ひとりが最適な学びをしていくことである。保育は、まかないにも通じる器用仕事であり、その人の良さを引き出すことである。乳幼児期は個人評価でこの期間内に内面や運動面がどう育ったかである。外発的動機より、内発的動機が大事で、やらされたのではなく、「自分で選んで決めた」ことが、内発的動機を高める。教師は、自らの客観を磨くこと、たくさん主観に出会い、総合的に俯瞰する力を蓄えることが大切である。



<講演会>

演題 「これからの幼児教育について」

講師: (一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

理事長 安家 周一氏

客観は主観の集積によって磨かれる。世の中に絶対ということはない。今信じていることが、将来間違いということもある。教育は、誰も予測できない不確定な未来にあっても、着実に生き延びていける、そうした能力を身につけるためにある。大事

<閉会行事>

根来副理事長が閉会の挨拶をされました。(小川せつ子)

令和2・3年度 受賞記念祝賀会

日時: 令和3年12月3日(金) 17時30分～ 場所: 仙台ガーデンパレス

コロナ禍のため延期されていた令和2年度及び令和3年度に表彰された宮城県私立幼稚園連合会の6名の会員の方々の祝賀会が開催されました。まず、今回叙勲された風間文静先生への黙とうを捧げた後、発起人の根来興宣副理事長が開会の挨拶を述べました。続いて鎌田理事長より祝辞がありました。「やっと、このような会を持つことができました。表彰された先生方には、心からお祝いを申し上げます。これからも幼児教育のために尽力されることを期待いたします。宮私幼がスタートした時は、全部が幼稚園でした。しかし今は、こども園や保育所も混在する組織となり、新しい組織としての体制を整えなければならない時期に来ていることを実感いたします。本日の祝賀会におきましては、風間先生が出席できなかったことが大変心残りです」と述べられました。

受賞者の先生方のご挨拶は、令和2年度の小野寺靖子先生、鎌田俊昭先生、奥野成賢先生につきましては「宮私幼だより153号」に詳しく掲載されていますので省略します。令和3年度受賞の先生方のご挨拶は次の通りです。

風間ち系子先生(故 風間文静先生(瑞宝双光章)の奥様):これまで皆様から戴きました、故文静への数々のご厚意に心から感謝申し上げます。これからは、後を継ぐ息子と一緒に前に進んでまいります。皆様のご協力を心からお願い致します。

北村泰秀先生(宮城県知事表彰):現在闘病中の身であります。地元石巻での東北地区私立幼稚園教員研修大会運営などが本当に良い思い出です。長年、事務局には大変お世話にな



左から小野寺靖子先生、鎌田俊昭先生、風間ち系子先生、北村泰秀先生、高橋正一先生

り心から感謝申し上げます。

高橋正一先生(宮城県知事表彰):仙私幼の役員として40年携わらせていただいたことが、一番の思い出です。私も北村先生同様闘病を経験し、何とか復帰して頑張っているところです。

この後、村山十五顧問の乾杯の音頭で祝宴となり、佐藤宏郎先生、横澤行夫先生、三塚百合子先生から受賞者の先生方のエピソードなどが披露され、お互いの近況や思い出話で盛り上がり、時の経つのを忘れるほど良い時間を過ごしました。最後に、庄司昭博副理事長より出席された先生方への御礼と改めて受賞者へのお祝いを述べられ閉会しました。

(片岡大助)

幼稚園訪問記

幼な子とともに

学校法人愛耕学園 愛耕幼稚園

〒988-0055 気仙沼市反町2の6

園児数96名 教職員19名

(満3歳児11名、3歳児23名、4歳児34名、5歳児28名) 令和4年3月1日時点

愛耕幼稚園 を訪問しました !!

令和4年1月14日(金)、気仙沼市の学校法人愛耕学園愛耕幼稚園を訪問しました。



園長 坂上靖恵先生(写真中央)

気仙沼市に近づくにつれ、三陸道の周辺に積雪が見られるようになり、愛耕幼稚園の北側に面する駐車場には2~3cm程度の雪が一面に積もっていました。園庭は日の当たるところは溶け始めていましたが、園児が遊ぶのにはちょうど良いくらいに覆われていました。「海岸沿いとは違ってここは山側なので雪が多いんですよ…」と、八戸市から赴任してきて2年目という坂上靖恵先生が迎えてくれました。

1. 概要

大正5年(1916年)に気仙沼バプテスト教会の教会保育園として創立。以来105年の歩みを重ねてこられたそうです。現在は、施設給付型幼稚園となり、満3歳児から年長児のクラスがあります。

2. 特色

キリスト教教育を土台とし、「おのれの自分のことばかりでなく、他人のこと考えなさい」(フィリピ2:4)の聖書の言葉を建学の精神としています。自分も他人も大切な存在であり、自然や生活・人との関係から、愛する心、感謝する心、生きる力を育みながら成長してほしいと願いつつ保育をおこなっています。



3. 教育・保育目標

- 豊かな探究心と想像力を持ち、創造的に生きる子ども
- 自己肯定感と感謝と思いやりの心を持つ子ども
- 聞き、判断し、行動と表現ができる子ども

4. 特に力を入れている教育

- 聖書の言葉に親しみ祈りながら、四季を楽しみ、行事活動では集団ならではの喜びを体験し、独り一人が神様の愛の中でのびのびと心身共に健やかに成長されますように、日々の保育に努力しています。
- 自然の恵みを体感する、田植えと収穫・さつま芋の苗植え



と収穫と焼き芋大会・リングオ狩り・園外保育を行っています。

- たくさんの季節の行事や、花の日(慰問)・収穫感謝・クリスマス礼拝などの教会行事、そして普段の保育を大切にしています。



5. 給食

副食給食を行っています(冬期は持参のご飯を暖飯器で温めています)。月2回のお弁当の日があります。

6. 保育時間

月曜日～金曜日

9:00~14:00

7. 預かり保育

保育日の7:45~18:00



8. バス送迎

バス送迎希望の園児対象に2台の園バスを運行しています。

9. 未就園児教室

昨年度から感染症対策のため、保育日ではない土曜日の10:00~11:40に月1回行っています。

10. 新型コロナウイルスへの対応

- 基本対応として手洗い・手指消毒・毎日の体調カード記入、マスク着用(園児は着用努力)。
環境整備は、園舎内・バス内の消毒作業と換気や空気清浄機・加湿器の使用。
- 行事は日程の延期や分散、参加人数の制限を保護者にご協力をいただき、極力実施できるように工夫しました。一昨年のクリスマス会では、急遽保護者参加が取り止めとなり、代わりにビデオを制作して公開することになったり、この2年間は保護者の方々のご理解や子どもたちのひたむきさに助けられながら、力を合わせて過ごしてきた気がします。

訪問後記

三陸道の全線開通により、気仙沼市への距離と時間が随分と縮減されました。大島大橋の開通や「おかえりモネ」効果もあり、観光に訪れる人々もずいぶん増えたようです。取材訪問の日は、園内でお正月遊びが活発に行われていて、年中・年長児は自分で作った凧をあげながら、雪で覆われた園庭狭しと駆け回って遊ぶ様子を見てきました。冬空をいっぱい元気な子どもたちの歓声が響き渡る光景は、本当にいいなあと感じて帰ってきました。(片岡大助)